

# ロゲイニングとは？

ロゲイニングとは、オーストラリア発祥の大規模スコアオリエンテーリングのような競技です。アメリカやカナダなどでも盛んに行われ、チェコでも世界選手権が開催されています。しかしながら、競技が行われている国は非常に少なく、日本では2002年に長野県菅平高原にて開催されたのが最初と思われます。日本のロゲイニング競技者は、現在のところ、非常に少ないと考えられます。特に海外の大会に参加した日本人は、10名にも満たない人数です。国内では、2008年よりシリーズ戦を開始したこともあり、徐々に愛好者は増えてきており、各大会200名程度の参加があります。ワールドカップや世界選手権も開催されている競技ですので、栄誉ある「ワールドカップ日本代表」の肩書きも夢ではありません。競技は、先にも書いたように、大規模なオリエンテーリングと考えてもらえれば、おおよそのイメージはつかんでもらえるでしょう。ただし、大規模さは並ではありません。いわゆるフルロゲイン（マラソンで言えば42.195km）は、制限時間が24時間です。この24時間に、地図上に示されたコントロールに付与された得点をどれだけ多く集めるかが勝敗の鍵となります。地図の範囲も広大で、フルになると新聞1面ぐらいある大きな地形図（2万～3万分の1スケール）に万遍なくコントロールが配置されています。各コントロールには、異なる得点が付けられており、順位は獲得した得点順となるため、どのコントロールを取るか作戦を立てることが重要となります。なお、優勝者でも時間内に全てのコントロールを取ることは難しいです。

## 全参加者が同一コースで楽しめる生涯スポーツ

このような事柄を書くと、ロゲイニングは屈強の身体を持った者のみが参加できる競技に思われがちなのですが、実際はそうでもありません。ハーフロゲイン（12時間）、クォーターロゲイン（6時間）なども開催されており、日本国内では3時間や2時間というお手軽なミニ版も数多く開催されています。

クラスは「ジュニア」（20歳以下）、「一般」「ベテラン」（40歳以上）、「スーパーベテラン」（55歳以上）と年齢による区分及び男性、女性、混合と性別による区分に分かれています。クラスは分かれていても、コントロール配置や渡される競技地図は全クラス共通です。

1分、1秒を争って走る上級ロゲイナーから、お弁当持参の宝探しハイキングレベルまで幅広く参加者がいることもこの競技の特徴です。

使用できるナビゲーション機器は、主催者から渡される巨大地形図とコンパスです。ただし24時間ということは、夜間もあるわけですし、仮眠を取りたくもなりますし、食事もとらなければなりません。ですから、ヘッドライトや水や食料などもリュックに詰めて運ぶ必要があります。

基本は、2名以上のグループで行います。それは安全上の理由が大きいためです。通常、単独ではやりません。グループ内での役割分担や意志疎通が勝敗の鍵になることは言うまでもありません。山の中で迷ったときお互いに助け合うことが重要です。

今までオリエンテーリングをやったことのある人も、そうでない人も一度チャレンジしてみても如何でしょうか？もちろん、山岳マラソン等を制覇している屈強ランナーも大歓迎。

※上記以外のロゲイニングとして、街の中で行う「マチ・ロゲイニング」があります。競技時間は2～4時間、街歩きを主とした、気軽に参加できる大会です。

## 【一般的なロゲイニング大会ルール】

- ・参加チームは、2～5名で構成
- ・競技時間は6時間（国際大会は24時間）
- ・競技地図は、スタート20分程度前に主催者より支給
- ・コントロールを回る順番は任意
- ・各コントロールには、主催者により20～100点程度のポイントが付与
- ・コントロールは優勝者でも回りきることが出来ない程度設置
- ・コントロール通過証明は、専用ICカード（e-card）を使用
- ・競技終了時刻を超過してゴールした場合は、毎分一定の点の割合（例：50点/分）で減点
- ・減点の割合は当日地図支給時に発表
- ・30分以上超過した場合は失格
- ・順位は、総得点から超過時間の減点を差し引いた得点で決定
- ・同得点者がいる場合、先に終了した人が上の順位

出典：日本ロゲイニング協会資料

# ロゲイニング競技方法



## 基本的な競技方法

参加者は、主催者から配られる地図をもとに、まずは作戦を立てます。スタートしたらチェックポイントを回り得点を集めます。チェックポイントに到達した記録として写真一覧と同じ風景を撮影します。制限時間内にフィニッシュ地点に戻ったら、結果を提出します。

観光名所は神社仏閣、店舗などがチェックポイントに設定されることが多く、本来のロゲイニングの戦略的な面白さはそのままに、ファミリーや初心者でも手軽に楽しむことができます。

また、性別により【男性】【女性】【混合】、年齢により14歳以下を含む家族、55歳以上のみで構成されたベテランなど、多くのクラスが設定されることで、参加者の意欲を高める工夫がなされています。

## 【参加者が用意するもの】

- ・デジタルカメラ、携帯、スマートフォンなどカメラ撮影機能のある機器。

## 【スタート前に主催者から配布されるもの】

- ・地図、チェックポイント写真一覧

## 【フィニッシュ時に主催者から配布されるもの】

- ・結果提出用紙（チェックシート）

